



## 「タネルチェーン」を一貫生産 挑戦続ける海外でも高評価

桑山

桑山は、新規設備の導入により、これまで自社では製造できなかったタネルチェーンを一貫生産できる体制を整えた。“誠実を礎として創造性豊かな製品の提供”を理念に掲げる桑山の、ものづくりへのあくなき探究心がこの挑戦を現実にした。

二方向のひねりを加えながら編み上げる「タネルチェーン」は、均整のとれた大小のひねりが連続することでしなやかな可動性と独特な表情を持つマシンチェーン

Jewellery & Gem WORLD

Hong Kong (JGW)」でも、桑山の作品としてタネルチェーンを発表したところ、会場随一の仕上がりと高評価の声を得ていた。

シリンドー制御で製造するタネルチェーンには、機械工学の知識とデータ分析を組み合わせたアプローチが必要不可欠。最終的には、工学的のデータ

タだけではなく、目と手で仕上がりを見極める職人の肌感覚を融合させることで、均整のとれたひねりの美しさと、チェーン全体のし

なやかさが高い完成度で表現される。これは、長年蓄積してきた桑山の工学的知見と、職人の経験に裏打ちされた技を掛け合わせた製造力の一例となる。

世界中のジュエリーブランドやバイヤーが集まる

Jewellery & Gem WORLD

Hong Kong (JGW)」でも、桑山の作品としてタネルチェーンを発表したところ、会場随一の仕上がりと高評価の声を得ていた。

また、金地金が高騰する中、プラチナとのコンビにすることで、金・プラチ

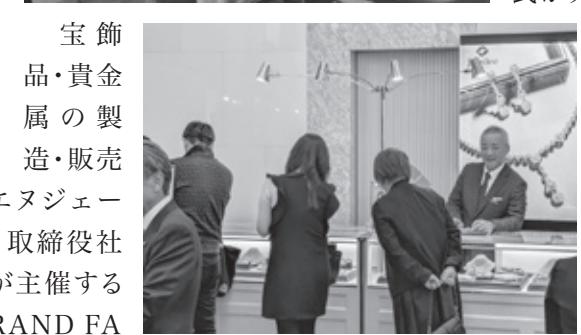
を背景に、商談が前に進みやすい展示会として知られている。

なかでも桑山は、有名ジュエリーブランドが名を連ねる「プレミアパビリオン」に出演。9月19日には「プラチナジュエリーの国際的広報機関であるプラチナ・ギルド・インターナショナル(PGI)主催のパネルディスカッションにも参加し、「プラチナジュエリーの市場動向や桑山の製品について業界のキーパーソンたち意見を交わした。

中国とタイに事業拠点を持つ桑山にとって、香港での展示会は、新規開拓と既存取引の深耕を図るうえで重要な機会と位置づけられた。来場者の反応も良好で、満足のいく成果を得ていた。

金相場は今後も高騰基調が続くと見込まれ、プラチナへの関心の高まりも想定される。今回の展示会で得た手応えは、桑山のさらなる進化に向けた示唆となる。今後は、見積もりと試作のリードタイムを着実に短縮し、Pt950の標準仕様を丁寧に整備しながら、市場を見据えた開発を進めていく。中国・タイ拠点で培った運営・物流の経験をいかし、これからも「心と夢を輝かでむすぶ」を世界へ届けていく。

広い空間で輝きと  
煌めきの世界を演出  
希少石までの魅力を発信



の美しさと素晴らしさを特別な空間で紹介し、どの作品を見ても、その技術と創作意欲の高さに圧倒された。さらには創業者のピキヨッティ氏が来日し、ファンを喜ばせた。

また、同社が力を入れているタイでNo.1のナチュ

IR 2025」が、11月22日・23日の2日間、「Jubilee Diamond」が、他にはない独創的なデザインで人気を集めている。タイの企業ながら海外で通用する力強いデザインで繊細なつくりが魅力。タイでは既に約130店舗を展開し、富裕層向けのハイクラスから、ラグジュアリー、ミドルなどのクラスにも対応できるコレクションを揃えられるのが最大の強みだ。

イベントは、会場内特設ステージにて、1日3回の「アコーディオンLive」で来場者を楽しませ、輝くジュエリーと共に、巧みに操られた感動の音色が披露された。

### CTスキャン使用 天女、花珠、鑑別書

※天女、ロイヤル天女は日本宝石科学協会で商標登録されています

**日本真珠学会協会**

〒110-0005 東京都台東区上野5-22-1 東錦ビル6F  
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

同社の今後の予定としては、12月8日にシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル1階THE CLUB Fujiにて、「Christmas Jewelry Party 2025」を開催する。

シヨンのゴッドマザーであるレア・セドウ氏と、フランス系カナダ人シンガーソングライターのシャルロット・カルダシ氏が出席し、星空の下で魅惑的なパフォーマンスを披露した。

世界で最もエレガントな大通りのひとつをさらに輝かせるシャンゼリゼ通りのイルミネーションは、毎年パリのホリデーシーズンを象徴するイベントとして世界中から訪れる人々を魅了する。今年はSwarovskiがエクスクルーシブスponサーとして光のインスタレーションを提供

Swarovskiし、フェスティビ

ーションを通じて美と輝きを届ける。

1895年以来、熟練した光の匠として知られるSwarovskiは、130年にわたる光の都であるパリと深い縁を築いていた。創業者ダニエル・スワロフスキ

氏が世界初の電動クリスタルカッティングマシンを発明した後、1900年のパリ万国博覧会でその先駆性を披露。以来、パリのファッションハウスにクリス

トアがオープンする。

甲府メッキ

甲府本社:〒400-0032山梨県甲府市中央5丁目2-11 Tel:055-232-4421  
東京支社:〒110-0016東京都台東区東1丁目43-10 Tel:03-5826-4067

## セーブ・ザ・チルドレンとブルガリ 社会を変えて行こうとする力と ラグジュアリーの世界との深い絆



左より慶應義塾大学名誉教授田村次朗氏、ブルガリ副CEOラウラ・ブルデーゼ氏、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン専務理事・事務局長高井明子

子ども支援専門の国際NGO  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（理事長：井田純一郎、本部：東京都千代田区）、2009年から16年近くにわたり、ブルガリ財団（ブルガリ副CEO：ラウラ・ブルデーゼ）と世界中のすべての子どもと

若者にとって、未来をより良い場所にするという共通のビジョンを共有してきた。

このパートナーシップは、ブルガリ財團とこの連携が、希望に満ちた目で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

そして今、両社はこの物語を未来に繋ぐため、若い世代に共有したいと考えている。これまでの道のりをただ振り返るのではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したいと考えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激するためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバードビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間の提携

であり、ビジネスを行うことと社会貢献

を行うことが別々の道ではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したい考

えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り

拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激するためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバード

ビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の

歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間の提携

であり、ビジネスを行うことと社会貢献

を行うことが別々の道ではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したい考

えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り

拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激するためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバードビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の

歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間の提携

であり、ビジネスを行うことと社会貢献

を行うことが別々の道ではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したい考

えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り

拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激るためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバードビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の

歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間の提携

であり、ビジネスを行うことと社会貢献

を行うことが別々の道ではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したい考

えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り

拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激のためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバードビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の

歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間の提携

であり、ビジネスを行うことと社会貢献

を行うことが別々の道ではなく、共に前進できることの証ともなっている。

そして今、両社はこの物語を未来に

繋ぐため、若い世代に共有したい考

えている。これまでの道のりをただ振り

返るのではなく、新たな可能性を切り

拓くきっかけとして、若い世代の彼らを

惹きつけ、刺激のためにマスタークラスのシリーズを開始した。

2024年11月にボストンのハーバードビジネススクールで始まり、2025年9月には東京の慶應義塾大学で、両社の

歩み、価値観、そしてバーバスに基づいたパートナーシップのインパクトを共有した。

セーブ・ザ・チルドレンは、ブルガリ財團とのこの連携が、希望に満ちた目

で社会に出る次世代の人々によって受け継がれ、さらに発展していくことを願っている。

長年にわたるこの取り組みは民間セ

クターと非営利セクターとの間